関西大学
大学院総合情報学研究科
情報経済論［1998年度概要］

担　当：　鬼木　甫（おにき・はじめ）
E-mail：　oniki@iser.osaka-u.ac.jp
Web：　www.crcast.osaka-u.ac.jp/oniki/

［1］講義アウトライン

I．情報の定義と機能

A．「情報」とは（？）――人間社会の基本要素

1．「情報」の定義

2．情報メディアと「体化された（embodied）」情報

3．情報の広汎な存在

4．「情報」の働きの認識の歴史

B．生物の進化と社会の進歩の情報的側面

1．生物と情報

2．動物・植物の区別と情報

3．脊椎動物には「情報センター」と「情報ハイウェイ」がある

4．哺乳類は「学習」ができる

5．人類は「社会的情報」を持ち、「情報を組織的に交換・蓄積」する

6．文明社会は「情報メディア」を持つ

7．生物の進化と社会の発展

II．経済活動と情報

A．経済主体の行動と情報――不確実性とリスク克服の努力

1．個別経済主体の行動と情報

2．不確実性下の経済学

3．不確実性と情報

4．「ショッピング（商品探し、職探し）」の経済分析

B．「経済システム」と情報

1．経済システムと情報――競争と協調の掛み合い

2．市場メカニズムと計画経済――「社会主義論争」

3．競争と規制――市場原理と計画原理のバランス：I

4．企業規模と企業の境界――市場原理と計画原理のバランス：II

5．不完全情報（情報の偏在・非対称性）から生ずる市場の失敗

6．マクロ経済学と情報

付加．日本型組織の情報的特色

C．社会経済の発展と情報
1．情報技術の発展と「情報化」の意義
2．日本にとっての「情報化」の意義
3．「情報化」はどのように実現されるか
4．「情報化」の統計データ作成・同計量分析

III．ディジタル技術とその応用
A．情報と情報処理
B．アナログ情報のディジタル化とエラー処理
C．情報処理と大規模集積回路（LSI）

IV．コンピュータ産業――日米比較
A．コンピュータ・システムの概要
B．パーソナル・コンピュータ（パソコン、PC）の構造と機能
C．コンピュータの歴史と現状
D．PC 産業の特色
E．日米の PC 産業の現状と歴史
F．PC 産業の構造
G．日米間の PC 産業構造の差の生成理由
H．PC 産業と企業組織の日米比較
付加．（米）マイクロソフト社の独占禁止法違反問題

V．テレコム産業――国営・独占・規制から市場と競争へ
A．テレコム技術の進歩
B．わが国電気通信産業の歴史
C．わが国電気通信産業の組織―― 1985 年の改革
D．NTT分離・分割とその後
E．米国・英国の電気通信産業

VI．放送産業――ディジタル化のインパクト
A．アナログ放送の歴史と現状
B．放送産業の問題――ケーブルテレビの現状
C．ディジタル放送のインパクト
D．米国、英国、EU諸国の放送産業

VII．電波資源（情報通信公共資源）の配分と競争
A．経済資源としての電波周波数
B．公共資源の配分・割当方式
C．米国の「電波」オークション

VIII．マルチメディアとネットワーク――融合と発展のトレンド

Ａ．インターネットの急成長

１．草創期

２．RFCによる基礎作り――「標準化と民主主義」

３．Web（WWW）の急成長

４．インターネットは将来社会の情報基盤

Ｂ．マルチメディアと高速広帯域通信

１．広帯域電話通信網とサービスの類型

２．経済の成熟と高齢化社会の到来

３．広帯域通信網への需要源

４．広帯域網インフラの建設

５．電話網建設の歴史は広帯域網建設の参考になるか

［２］学習・評価の方法

I．大部分は講師によるレクチャー・説明

トピックの選択には投票方式を採用

資料源として内外のWebを使用

II．評価について

Ａ．期末筆記テスト（従来方式）

Ｂ．自分でテーマを選び、レポート作成

１．ペーパー・レポートと発表（従来方式）

２．Web上レポートと発表・公開（新方式）

上記Ａ、Ｂ．１、Ｂ．２より選択。

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

FAX：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Web：http://＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

I．出身、これまでの経験、専攻等

II．興味を持っている分野、キーワード、将来やりたいこと等

III．講義トピック項目への投票

章	投票
I．情報の定義と機能	必須
II．経済活動と情報	%
III．ディジタル技術とその応用	必須
IV．コンピュータ産業――日米比較	%
V．テレコム産業――国営・独占・規制から市場と競争へ	%
VI．放送産業――ディジタル化のインパクト	%
VII．電波資源（情報通信公共資源）の配分と競争	%
VIII．マルチメディアとネットワーク――融合と発展のトレンド	%
計	１００%

IV．上記を鬼木以外の人に見せてもよい。　（　YES　/　NO　）